

PHIL
HAR
MONY

12

December 2020
NHK Symphony Orchestra, Tokyo

感染症予防対策についての取り組み

みなさまに安心して演奏をお楽しみいただけるように、
以下の感染症予防対策について、ご理解・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

- 会場内では、必ずマスクを着用し、手洗い、手指の消毒、咳エチケットにご協力ください。
- 感染予防のため、休憩中も含め、客席内ではご自身のお座席以外への着席はご遠慮ください。
- 入退場時および会場内では、まわりの方々との距離を確保した上で行動くださいますよう、ご協力をお願いいたします。また、混雑緩和のために入退場時に、制限をさせていただく場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- 当日は極力接触を避けるため、会場内での当日券販売、チケットの当日精算は行いません。必ず事前に発券されたチケットをお持ちの上、ご来場ください。
また、お連れ様のチケットをお預かりすることもできませんので、あらかじめご了承ください。
- 当日、チケット半券のもぎりは、係員の確認後、お客様ご自身でお願いいたします。
また、プログラムは所定の場所からお客様ご自身でお持ちください。
- ロビー等での歓談はなるべくお控えください。
- 「ブラボー」等の掛け声はお控えください。
- サイン会は実施しません。また、楽屋口での出演者の入待ち・出待ちはお断りいたします。また出演者への面会やプレゼントもお断りいたします。
- 万が一、ご来場のみなさまの中から新型コロナウイルス感染者が発生した場合には、保健所など公的機関へチケット購入時にいただいたお客様の情報を提供する場合がございます。またその場合、複数枚をご購入いただいた方には、同伴者など、当日ご来場いただいた方の連絡先をお伺いいたします。あらかじめご承知おきください。

-
- 喫茶コーナーは休止しております（サントリーホールはソフトドリンクのみの提供）。
 - 会場内での食事はお控えください。また持ち込みもご遠慮ください。
 - NHK ホールの喫煙コーナーは休止しております。
 - クロークは休止しております。
 - ブランケット等の貸し出しサービスは休止いたします。必要に応じて、防寒の備えをお勧めいたします。
 - 会場内での他の公演のチケット販売は行いません。またCD等の販売もございません。
 - NHKホールでの公演について、終演後に運行していた渋谷駅行きの臨時バスは、3密（密閉・密集・密接）防止の観点から運休となります。

-
- 公演により座席数を制限している場合があります。
 - 会場内のドアノブや座席の手すりなどはあらかじめ消毒を実施します。
 - 会場内の常時換気、開場中および休憩中の客席扉の開放など空気の流れ替えに努めます。
 - スタッフもマスクの着用等、ご来場のみなさま同様に感染予防の対策を行います。また、業務の内容により、フェイスシールドやビニール手袋の着用をさせていただきます。
 - 厚生労働省による「新型コロナウイルス接触確認アプリ(COCOA)」の活用を推奨いたします。

Philharmony

CONTENTS
DECEMBER 2020

12

- 3 [公演プログラム] **NHKホール** | 12月5日、6日
- 8 [公演プログラム] **東京芸術劇場** | 12月11日、12日
- 12 [公演プログラム] **サントリーホール** | 12月16日、17日
- 15 [シリーズ] **N響百年史** | 第15回 | 大倉喜七郎、山田耕筰をたじろがせる 片山杜秀
- 19 Information / お詫びと訂正 / 2020-21シーズン公演日程 / 2021年1月公演日程&プログラム
- 20 特別支援・特別協力・賛助会員
- 24 NHK交響楽団メンバー
- 25 NHK SYMPHONY ORCHESTRA, TOKYO Members
- 26 役員等・団友

お客様へのお願い



公演中は携帯電話、
時計のアラーム等は
必ずお切りください



演奏は最後の余韻まで
お楽しみください



場内での録画、録音、
写真撮影は固くお断り
いたします



私語、パンフレットを
めくる音など、
物音が出ないように
ご配慮ください



演奏中の入退場は
ご遠慮ください



補聴器が
正しく装着されているか
ご確認ください

Special Thanks




NHK SYMPHONY ORCHESTRA T O K Y O

特別支援

岩谷産業株式会社

 三菱地所株式会社

東日本旅客鉄道株式会社

 みずほ銀行

公益財団法人 渋谷育英会

With Special Support of

Iwatani Corporation

Mitsubishi Estate Co., Ltd.

East Japan Railway Company

Mizuho Bank, Ltd.

Shibuya Scholarship Foundation

NHK交響楽団は上記の各社から特別支援をいただいております。

2020年2月、ウィーン・コンツェルトハウスにて

©Lukas Beck

12/5 **土** 6:00pm
12/6 **日** 3:00pm

NHKホール

NHK Hall

December

5(Sat) 6:00pm

6(Sun) 3:00pm

指揮

井上道義

Michiyoshi Inoue, conductor

ピアノ

松田華音

Kanon Matsuda, piano

コンサートマスター

篠崎史紀

Fuminori Maro Shinozaki, concertmaster

ショスタコーヴィチ

交響曲 第1番 へ短調 作品10 [28']

I アレグレット—アレグロ・ノン・トロツポ

II アレグロ—メノ・モッソ

III レント

IV レント—アレグロ・モルト

— 休憩 (20分) —

伊福部 昭

ピアノと管弦楽のための

「リトミカ・オスティナータ」 [22']

伊福部 昭

日本狂詩曲 [17']

I 夜曲

II 祭

Dmitry Shostakovich (1906–1975)

Symphony No. 1 F Minor Op. 10

I Allegretto – Allegro non troppo

II Allegro – Meno mosso

III Lento

IV Lento – Allegro molto

— intermission (20 minutes) —

Akira Ifukube (1914–2006)

**“Ritmica Ostinata,” for Piano and
Orchestra**

Akira Ifukube

Japanese Rhapsody

I Nocturne

II Fête

Artist Profiles

井上道義 (指揮)



1946年東京生まれ。桐朋学園大学で齋藤秀雄に師事。1971年、ミラノ・スカラ座主催グイド・カンテルリ指揮者コンクールで優勝し、以後国内外で活躍。シカゴ交響楽団、ベルリン放送交響楽団、ミュンヘン・フィルハーモニー管弦楽団、ミラノ・スカラ座フィルハーモニー管弦楽団、レニングラード交響楽団、ベネズエラ・シモン・ボリバルなど海外の著名なオーケストラと共演を重ね、ニュージーランド国立交響楽団首席客演指揮者を務めた。また国内では新日本フィルハーモニー交響楽団音楽監督、京都市交響楽団音楽監督、大阪フィルハーモニー交響楽団首席指揮者、オーケストラ・アンサンブル金沢音楽監督(現桂冠指揮者)を歴任。2007年には日露5つのオーケストラとの「日露友好ショスタコーヴィチ交響曲全曲演奏プロジェクト」を完遂し、2017年には同プロジェクトの録音がCD化された。2014年4月、病に倒れるが、同年10月、N響とのブルックナー《交響曲第9番》で復帰を遂げる。N響との初共演は1978年5月の第752回定期公演で、以後海外でのコンサートを含む65公演を指揮。ショスタコーヴィチ《交響曲第11番「1905年」》などを演奏した2019年10月の第1921回定期公演は、一般投票によって選ばれる「最も心に残ったN響コンサート2019」で第1位となった。

松田華音 (ピアノ)



香川県高松市生まれ。4歳でピアノをはじめ。6歳でモスクワに渡り、翌年ロシア最高峰の名門音楽学校、モスクワ市立グネーシン記念中等(高等)音楽専門学校ピアノ科に第1位で入学。2004年エドヴァルト・グリーグ国際ピアノ・コンクール(モスクワ)でグランプリを受賞したのをはじめ、多くのコンクールで優勝を果たす。2011年12月、国立アレクサンドル・スクリャービン記念博物館より「スクリャービン奨学生」に選ばれる。2013年2月、モスクワ市立グネーシン記念中等(高等)音楽専門学校で外国人初の最優秀生徒賞を受賞。翌年同校を首席で卒業。同年9月、モスクワ音楽院に日本人初となるロシア政府特別奨学生として入学し、2019年6月首席で卒業した。グネーシン、モスクワ音楽院共に、ロシアで成績優秀者に贈られる「赤の卒業証書」を授与された。現在、モスクワ音楽院大学院に在学中。2014年メジャー・レーベルよりCDデビューを果たした。N響との初共演は2018年11月。今回で3回目の共演となる。

作曲家のデビュー作には、すべての要素が隠されている、とも言われる。今回の演目には井上道義が得意とする二大作曲家の名を世に知らしめた初期交響作品が並んだ。ドミートリ・ショスタコーヴィチ(1906~1975)19歳の鮮烈なる《交響曲第1番》と、伊福部昭(1914~2006)21歳がチェレブニン賞で世界的評価を浴びた《日本狂詩曲》だ。そして47歳の伊福部がアジア的リズム感を炸裂させた《ピアノと管弦楽のための「リトミカ・オスティナータ」》に、国際的な活躍目覚ましい松田華音をソリストとして迎える。

ショスタコーヴィチ

交響曲 第1番 へ短調 作品10

生涯に15曲の交響曲を書き上げ、オペラ、バレエ、室内楽、映画音楽まで幅広い創作を残したドミートリ・ショスタコーヴィチは、ソビエト社会主義共和国連邦の象徴的な作曲家といえよう。

鉱山技師の父、音楽院ピアノ科出身の母の元に生まれ、グラズノフに才能を見出されピアノ科と作曲科で学んだショスタコーヴィチは、15歳で父を結核で亡くしており、16歳には自身も結核で療養して音楽院の卒業を2年延期している。

《交響曲第1番》は、一家の大黒柱を失い経済的に厳しい状況のなか、無声映画の伴奏ピアニストとして家計を支えつつ、レニングラード音楽院の卒業作品として完成された。当時の前衛を担っていたストラヴィンスキーやプロコフィエフなどの影響も聴かれる。ロシアのアカデミズムを重んじた師匠のシュテインベルクには第2楽章のスケルツォを「グロテスク」と批判され、グラズノフからは、第1楽章の序奏主題の不協和音を訂正された(初演直前に訂正指導を元に戻している)。前衛とアカデミズムのせめぎあいの中で自身の言葉を掴み取ろうとする若き作曲家にとって、それらの懸念を払いのけるには初演の機会を得るしかなかったのだ。

やっとこぎつけた1926年5月12日の初演では「現代のモーツァルト」「ソ連が生んだ天才」と絶賛を浴びた。その後、順調に作品は普及し、初演指揮者のマリコを通じて、ワルターが1927年にベルリン・フィルで国外初演を行い、ストコフスキー、クレンペラー、トスカニーニがレパートリーとしていった。日本初演は1931年、山田耕筰指揮、新交響楽団(現在のNHK交響楽団)であった。

第1楽章 弱音器をつけたトランペットとファゴットの独奏により、軽妙にしてアイロニカルなアレグレットから始まる。交響曲の主題はこの動機の変形によって展開される。提示部では作曲者が「おどけた行進曲」と呼んだ第1主題とワルツによる第2主題からなる。せわしなく切り替わる映画のシーンを思わせる構成には、無声映画の伴奏経験の

影響も指摘される。

第2楽章 低弦とクラリネットの主題をピアノが受けるスケルツォ、民謡的主題のトリオによる。見事な対比が流れよく繋がって効果をあげている。

第3楽章 3部形式。甘美なオーボエ、ワーグナーの《トリスタンとイゾルデ》を思わせるチェロ、暗い情熱を感じさせるファンファーレ、そして葬送行進曲などさまざまな要素が交錯しながら、シヨスタコーヴィチならではの謎めいた緩徐楽章を形づくる。

第4楽章 各楽章の主題が対比されつつ、自由なソナタ形式で集約される。

作曲年代	1924年秋から1925年7月1日
初演	1926年5月12日、ニコライ・マリコ指揮、レニングラード・フィルハーモニー交響楽団
楽器編成	フルート3(ピッコロ2)、オーボエ2、クラリネット2、ファゴット2、ホルン4、トランペット2、アルト・トランペット1、トロンボーン3、チューバ1、ティンパニ1、トライアングル、大太鼓、シンバル、サスペンデッド・シンバル、小太鼓、タムタム、グロッケンシュピール、ピアノ1、弦楽

伊福部 昭

ピアノと管弦楽のための「リトミカ・オスティナータ」

「日本」という枠に収まることのないスケールの大きな音楽で知られる伊福部昭は北海道生まれ。ストラヴィンスキーやラヴェルの音楽に親近感を持ち、独学で作曲家となった人である。その音楽の魅力は、幼年時代にアイヌの人々と交流した経験や、古代、日本、アジアへの眼差し、根源的な生命力の探求にある。具体的には、力強いリズム、ダイナミックなサウンド、徹底的なオスティナータ(繰り返し)などがあげられる。

その魅力を遺憾なく発揮したのが1961年の《リトミカ・オスティナータ》である。これは当時、十二音技法などが持てはやされた日本の音楽界に対しての反論としての創作でもあった。12音の半分である6音を使うことや、日本古来の俳句にあるような五七五を「リトミカ・オスティナータ(執拗に反復される律動)」のモチーフとして徹底的に突き詰める。ここでは西洋的な複数の主題の対比による二元世界ではなく、小さな仏像が壁面を埋め尽くすような「群」による圧倒的なエネルギー、つまりは単一の主題を堆積させる一元的世界が展開される。ピアノも管弦楽も律動を執拗に反復させて、壮麗で豪華なる音の大伽藍を作り上げる。

作曲年代	1961年、1969年改訂、1971年再改訂
初演	1961年10月9日、上田仁指揮、金井裕の独奏、東京交響楽団
楽器編成	フルート2、ピッコロ1、オーボエ2、イングリッシュ・ホルン1、クラリネット2、バス・クラリネット1、ファゴット2、コントラファゴット1、ホルン4、トランペット3、トロンボーン3、チューバ1、ティンパニ1、トムトム、クラベス、カウベル、コンガ、ティンパレス、ハーブ1、弦楽、ピアノ・ソロ

伊福部 昭

日本狂詩曲

1935年にフランスで行われたチェレブニン賞で1位となり、国際的評価を得た伊福部の本格的デビュー作である。ポーランドやフィンランドでも演奏され、シベリウスから賞賛された。現在では誰もが納得する日本管弦楽史の最高傑作のひとつであるが、驚くべきことに、作曲当時の伊福部は、実物のハーブやチューバも見たことがなく、レコードと輸入楽譜からオーケストラを想像して曲を完成させたのである。この成功で伊福部は、独学で大管弦楽を鳴らす異常な天才として人々に知られることとなった。

作曲の経緯は、北大生であった伊福部が、当時文通していたボストン交響楽団の指揮者フェビアン・セヴィツキーから「曲を書いているなら送ってくれ」と求められたことによる。当時の伊福部は、北海道大学管弦楽団のコンサートマスターであり、そこで音にしようとしていたのがヴァイオリン独奏と打楽器合奏のための協奏曲。この破天荒な曲を3管編成に改稿して、ボストンに送り、パリのチェレブニン賞にも応募して、その両方で評価されたのが《日本狂詩曲》となる。弦楽器と打楽器だけでなく、管弦楽の多彩な魅力を加えた爆発的な音圧は格別な味わいとなっている。

その後、伊福部はいくつもの管弦楽曲を発表し、戦後には東京音楽学校（現在の東京藝術大学）で作曲講師となり、芥川也寸志、黛敏郎、矢代秋雄、松村禎三、三木稔ら日本の音楽界を担う若者たちを育て上げた。独学の作曲家が楽壇の中央で指導することになったのは、歴史のなかでも稀有な出来事だろう。

第1楽章〈夜曲〉は、ヴィオラの独奏が小太鼓のリズムを伴い、次第に楽器を増やしコントラストをつける陰翳礼讃の音楽である。各種打楽器には、日本の音感覚が込められている。第2楽章〈祭〉は、クラリネット・ソロとそれに続くフル・オーケストラが主題を提示する。この主題は北海道神宮のお囃子を原型としており、祭礼の山車が街を練り歩くようなパワフルな管弦楽を聴かせる。最高潮に至る終結部は、ほとんど数小節ごとに、野蛮、重厚、燃え上がるように、と執拗な指示があり、演奏家の最大出力が求められる。

作曲年代	1935年
初演	1936年4月5日、フェビアン・セヴィツキー指揮、ボストン・ピープルズ交響楽団
楽器編成	フルート2、ピッコロ1、オーボエ2、イングリッシュ・ホルン1、クラリネット2(Esクラリネット1)、バス・クラリネット1、ファゴット2、コントラファゴット1、ホルン4、トランペット2、トロンボーン3、チューバ1、ティンパニ1、大太鼓、小太鼓、シンバル、タムタム、カスタネット、タンブリン、ウッド・ブロック、ハーブ2、ピアノ1、弦楽

西 耕一 | Koichi Nishi

音楽評論家。おもな研究領域は伊福部昭や、「3人の会」（黛敏郎、團伊玖磨、芥川也寸志）など日本の作曲家。

12/11 **金** 7:00pm
12/12 **土** 2:00pm

東京芸術劇場

Tokyo Metropolitan Theatre

December

11(Fri) 7:00pm

12(Sat) 2:00pm

指揮 **秋山和慶**
Kazuyoshi Akiyama, conductor

ヴァイオリン **諏訪内晶子**
Akiko Suwanai, violin

コンサートマスター **伊藤亮太郎**
Ryotaro Ito, concertmaster

ベートーヴェン生誕250年

ベートーヴェン
「エグモント」序曲 [9']

ベートーヴェン(マラー編)
弦楽四重奏曲 第11番 へ短調 作品95
「セリオソ」(弦楽合奏版) [23']

- I アレグロ・コン・ブリオ
- II アレグレット・マ・ノン・トロッポ
- III アレグロ・アッサイ・ヴィヴァーチェ・マ・セリオソ
- IV ラルゲット・エスプレッシーヴォー
アレグレット・アジタート

— 休憩 (20分) —

ベートーヴェン
ヴァイオリン協奏曲 二長調 作品61
[42']

- I アレグロ・マ・ノン・トロッポ
- II ラルゲット
- III ロンド: アレグロ

The 250th Anniversary of
Beethoven's Birth

Ludwig van Beethoven (1770–1827)
“Egmont,” incidental music Op. 84
– Overture

Ludwig van Beethoven/
Gustav Mahler (1860–1911)
String Quartet No. 11 F Minor
Op. 95 “Serioso”
(String Orchestra Version)

- I Allegro con brio
- II Allegretto ma non troppo
- III Allegro assai vivace ma serioso
- IV Larghetto espressivo – Allegretto agitato

— intermission (20 minutes) —

Ludwig van Beethoven
Violin Concerto D Major Op. 61

- I Allegro ma non troppo
- II Larghetto
- III Rondo: Allegro

Artist Profiles

秋山和慶(指揮)



1941年生まれ。齋藤秀雄のもとで指揮法を修め、1963年に桐朋学園大学音楽学部を卒業。1964年2月に東京交響楽団を指揮してデビューののち同団の音楽監督・常任指揮者を40年間にわたり務める。その間、バンクーバー交響楽団音楽監督(現在桂冠指揮者)、シラキュース交響楽団音楽監督、大阪フィルハーモニー交響楽団、札幌交響楽団、広島交響楽団、九州交響楽団の首席指揮者なども歴任。

サンフランシスコ交響楽団、クリーヴランド管弦楽団、ロサンゼルス・フィルハーモニック、フィラデルフィア管弦楽団、ニューヨーク・フィルハーモニック、ボストン交響楽団、シカゴ交響楽団などに客演している。現在中部フィルハーモニー交響楽団芸術監督・首席指揮者、日本センチュリー交響楽団ミュージックアドバイザー、東京交響楽団桂冠指揮者、広島交響楽団終身名誉指揮者、九州交響楽団桂冠指揮者。N響との縁も深く初共演は1971年に遡る。以後定期公演21回を含む約150回のコンサートを指揮し、モーツァルト、ベートーヴェンから近現代作品まで多彩な作品を披露。また全国各地でのN響公演の指揮を務めたのに加え、大河ドラマのテーマ曲をはじめ、放送収録でも数多くN響を指揮し、オーケストラ音楽の魅力を広く伝えてきた。

諏訪内晶子(ヴァイオリン)



桐朋女子高等学校音楽科を経て、桐朋学園大学ソリスト・ディプロマコース修了。文化庁芸術家在外派遣研修生としてジュリアード音楽院及びコロンビア大学で学び、同音楽院修士課程修了。ベルリン芸術大学でも学んだ。1990年、史上最年少でチャイコフスキー国際コンクール優勝。これまでに小澤征爾、マゼール、サヴァリッシュ、ゲルギエフらの指揮で、ボストン交響楽団、フィラデルフィア管弦楽団、ロンドン交響楽団、ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団など国内外の主要オーケストラと共演。

2012年より「国際音楽祭NIPPON」を企画制作し、同音楽祭の芸術監督を務めている。N響とは1989年以来、数多く共演を重ねている。近年では2015年北京公演のソリストを務めたほか、今年2020年にリリースされたパーヴォ・ヤルヴィ指揮「武満徹:管弦楽曲集」でソロを披露した。使用楽器は、日本にルーツをもつ米国在住のDr. Ryuji Uenoより長期貸与された1723年製作のガールネリ・デル・ジェズ「チャールズ・リード」。

Program Notes | 沼口 隆

ベートーヴェン生誕250周年の今年、世界各地で関連の演奏会や展覧会、シンポジウムなどが予定されていた。しかし、新型コロナウイルスの感染拡大は、ほとんどの企画を中止ないしは延期へと追い込んだ。いま演奏会は、万全の注意を払いながら懸命に歩みを取り戻そうとしている。新たな気持ちでベートーヴェン・プログラムを楽しみたい。

ベートーヴェン

「エグモント」序曲

「エグモント」とは、オランダ独立戦争の初期に実在した民衆の英雄ラモラル・ファン・エフモント伯爵(1522~1568)の名をドイツ語風に発音したもので、ドイツの文豪ゲーテ(1749~1832)は、彼をモデルにして戯曲『エグモント』(1787)を著した。ルートヴィヒ・ファン・ベートーヴェン(1770~1827)は、この戯曲がウィーンで上演されるにあたり付随音楽の作曲を委嘱された。原作では劇中の5曲のみが指定されているが、ベートーヴェンは本日演奏される序曲のほかに4曲の幕間音楽を添えている。

付随音楽の作曲に着手したと考えられる1809年、ウィーンは5か月間に亘^{わた}ってフランス軍に占領されていた。エグモントは、最後には見せしめの死刑に処せられるものの、最後まで自由という理想を失わない。その姿は、敗戦から立ち直ろうとする人々の胸に訴えるものがあつたことだろう。序曲も冒頭から、激しい情熱をほとばしらせ、表現は完全にロマン派のものとなっている。

作曲年代	1809年晩夏・秋頃~1810年6月(その後改訂)
初演	1810年6月15日、ウィーンのブルク劇場における戯曲の上演に際して(2つのクレールヒェンの歌のみは5月24日の初日から歌われていた可能性がある)
楽器編成	フルート2(ピッコロ1)、オーボエ2、クラリネット2、ファゴット2、ホルン4、トランペット2、ティンパニ1、弦楽

ベートーヴェン(マーラー編)

弦楽四重奏曲 第11番 ヘ短調 作品95「セリオソ」(弦楽合奏版)

作品95の《弦楽四重奏曲》は、『エグモント』のための劇付随音楽の直後に作曲されたと推定される。成立年代については議論もあるが、自筆譜に記入された「1810年10月」に基本的には成立していたと見て良いだろう。

「セリオソ *serioso*」は、初版には採用されなかったものの、自筆譜に書き込まれている言葉で、イタリア語では「まじめな *serio*」に対して風刺的なニュアンスが加わり「まじめくさつた」というような意味になる。この相違は、曲の印象にも大きく影響するだろう。

グスタフ・マーラー(1860~1911)は、ウィーン・フィルの首席指揮者としての最初のシーズンに、当該の編曲を披露した。ヴァイオリン・パートが各18、ヴィオラが12、チェロとコントラバスが各10という大編成だったという。新たに付加されたコントラバスのパートは、抑制的ではあるが、原曲にはない厚みを加えて装いを新たにする。

作曲年代	[原曲]1810年夏から秋 [弦楽合奏版]1898年
初演	[原曲]不詳。1814年5月のウィーンにおける上演が伝えられている [弦楽合奏版]1899年1月15日、ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団の第5回演奏会、マーラーの指揮で
楽器編成	弦楽

ベートーヴェン

ヴァイオリン協奏曲 二長調 作品61

自筆譜の表紙には「クレメントのためにお情けで書いた(par Clemeza pour Clement)」という駄洒落が記されている。ウィーンっ子のフランツ・クレメント(1780~1842)は、天才児としてヴァイオリン演奏に頭角を現し、卓抜な技巧性に加えて、演奏の優美さでも定評があった。この曲の初演当時は、アン・デア・ウィーン劇場の音楽監督を務めており、ベートーヴェンの《交響曲第1番》《第2番》《第4番》や《ピアノ協奏曲第1番》なども取り上げていた。作曲家として2曲の交響曲や6曲のヴァイオリン協奏曲をはじめとする作品も残しており、特に1805年作曲の《ヴァイオリン協奏曲二長調》は、翌年に同じ調で書かれたベートーヴェンの作品に影響を及ぼした可能性が指摘されている。

「完成から二日と経たずに」初演されたというチェルニーの証言には、にわかには信じがたいものもあるが、資料研究は、自筆譜が1806年の11月後半になってようやく書き始められたことを裏付けており、わずかに数週間で初演に漕ぎ着けたことは確かである。この曲は、ピアノ協奏曲にも編曲されているが、それと並行してヴァイオリン独奏パートも大幅に改稿されており、一般に演奏されるのは初版に反映された第2稿である。

ティンパニ独奏による開始が非常にユニークだが、何の変哲もないような要素を動機として巧みに活用するところは、いかにもベートーヴェンらしい。

作曲年代	1806年、独奏パートは1808年までに大きく改訂
初演	1806年12月23日、ウィーンのアン・デア・ウィーン劇場におけるフランツ・クレメント自身の演奏会で、クレメントの指揮と独奏による
楽器編成	フルート1、オーボエ2、クラリネット2、ファゴット2、ホルン2、トランペット2、ティンパニ1、弦楽、ヴァイオリン・ソロ

沼口 隆 | Takashi Numaguchi

東京藝術大学音楽学部楽理科准教授。専門はベートーヴェンを中心とする18世紀後半から19世紀の音楽史。

12/16 水 7:00pm
12/17 木 7:00pm

サントリーホール

Suntory Hall

December

16(Wed) 7:00pm

17(Thu) 7:00pm

指揮

井上道義 | プロフィールは p.4
Michiyoshi Inoue, conductor

コンサートマスター

篠崎史紀
Fuminori Maro Shinozaki, concertmaster

プロコフィエフ

バレエ音楽「シンデレラ」作品87(抜粋)

[28']

第1曲 序奏

第5曲 仙女のお婆さん

第7曲 踊りのレッスン

第29曲 舞踏会に着いたシンデレラ

第30曲 グランドワルツ

第34曲 来客へのごちそう

第36曲 王子とシンデレラのデュエット

第37曲 ワルツ—コーダ

第38曲 真夜中

— 休憩(20分) —

チャイコフスキー

交響曲 第4番 へ短調 作品36 [43']

I アンダンテ・ソステヌート

— モデラート・コン・アニマ

II アンダンティーノ・イン・モード・ディ・カンツォーナ

III スケルツォ: ピチカート・オスティナート: アレグロ

— メノ・モツソ

IV 終曲: アレグロ・コン・フォーコ

Sergei Prokofiev (1891–1953)

“Cinderella,” ballet Op. 87 (excerpts)

No. 1 Introduction

No. 5 The Fairy Godmother

No. 7 The Dancing Lesson

No. 29 Cinderella's Arrival at the Ball

No. 30 Grand Waltz

No. 34 Entertainment of the Guests

No. 36 Duet of the Prince and Cinderella

No. 37 Waltz – Coda

No. 38 Midnight

— intermission (20 minutes) —

Peter Ilich Tchaikovsky (1840–1893)

Symphony No. 4 F Minor Op. 36

I Andante sostenuto – Moderato con anima

II Andantino in modo di canzona

III Scherzo: Pizzicato ostinato: Allegro – Meno mosso

IV Finale: Allegro con fuoco

Program Notes | 千葉 潤

20世紀ロシアの作曲家たちは、さまざまな分野でピョートル・イリイチ・チャイコフスキー（1840～1893）の影響を受けた。特にセルゲイ・プロコフィエフ（1891～1953）の《シンデレラ》は、19世紀ロシア・バレエの伝統を継承した作品である。チャイコフスキーもまた、西欧器楽の中心である交響曲に独自の工夫を加えながら、ロシア人作曲家としてのアイデンティティを模索した。2人の作曲家の間に響き合う「ロシア的なもの」に耳を傾けたい。

プロコフィエフ

バレエ音楽「シンデレラ」作品87（抜粋）

かつて《白鳥の湖》が初演された際、チャイコフスキーの斬新なリズム法や管弦楽法を理解できなかったロシアのバレエ・ダンサーたちは、大いに不満を爆発させたという。それから60年以上も後の1940年、《ロメオとジュリエット》のロシア初演をやっと実現したプロコフィエフも同様の事態に直面した。「バレエ愛好家たちは、私の《ロメオとジュリエット》にはダンスが無いと騒いでいるが、それは奴らが、ギャロップやポルカやワルツやmazurka、それにヴァリアシオンしかダンスと考えていないからだ。（中略）時代遅れのやり方で作曲するのは簡単さ。でも我々は前に進まなくてはならない」。ダンサーには不評だったにせよ、その音楽は聴衆に確実に支持され、次の委嘱につながった。上記の発言を実現すべく、プロコフィエフが取り組んだのが《シンデレラ》である。

原作者は、《眠れる森の美女》と同じく17世紀フランスの童話作家シャルル・ペローであり、音楽には多くの宮廷舞踊（パスピエ、プーレー）が取り込まれている。しかしチャイコフスキーが仕えた帝政ロシアと違い、ヨーロッパ宮廷文化の様式化が社会主義国の劇場にそのまま受け入れられるはずもなく、第1幕でのシンデレラを取り囲む辛い家庭環境や、第2幕の宮廷舞踏会の音楽は、初期のプロコフィエフが得意とした辛辣で軋んだ響きが影を落としている。その真骨頂は、機械仕掛けの時計をグロテスクに誇張した〈真夜中〉の音楽であり、プロコフィエフ独特の奇抜な楽想や管弦楽法が十分に威力を発揮する。一方、幸福を夢見るシンデレラを表すハ長調の甘美な主題（〈序奏〉後半）や、シンデレラが舞踏会で披露する〈グランド・ワルツ〉のシンフォニックな音楽は、いうまでもなくチャイコフスキー様式の継承であり、前述のモダニズム的な音楽と好対照をなしている。

作曲年代	1941～1944年
初演	1945年11月21日、モスクワ・ボリショイ劇場
楽器編成	フルート3（ピッコロ1）、オーボエ2、イングリッシュ・ホルン1、クラリネット2、バス・クラリネット1、ファゴット2、コントラファゴット1、ホルン4、トランペット3、トロンボーン3、チューバ1、ティンパニ1、トライアングル、ウッド・ブロック、マラカス、タンブリン、小太鼓、シンバル、サスペンデッド・シンバル、大太鼓、タムタム、グロッケンシュピール、シロフォン、時の鐘、ハープ1、ピアノ1（チェレスタ1）、弦楽

チャイコフスキー

交響曲 第4番 へ短調 作品36

本作は、同時期の《ピアノ協奏曲第1番》、《白鳥の湖》、《エフゲーニ・オネーギン》と並び、チャイコフスキーの創作活動の最初の絶頂期に作曲された。この時期は、彼の人生最大の転機でもあり、生涯にわたるパトロンとの出会いや、苦渋にみちた結婚生活の破綻等、人生の波乱と創作の飛躍が一致したことで、この作曲家の人生と作品を結び付けて解釈する傾向に拍車をかけた。しかしながら、私小説的な作品解釈を離れて当時の西欧に目を向ければ、1875年にはビゼー《カルメン》、翌年にはワーグナー《ニーベルングの指環》やブラームス《交響曲第1番》が初演されるなど、チャイコフスキーにもさまざまな影響を与えた19世紀ロマン派音楽の新しい動きが始まっていた。西欧音楽の受容とロシア国民楽派との間で逡巡^{しゆんじゆん}していた模索の時代を脱し、ヨーロッパの新しい潮流に敏感に反応しながら、チャイコフスキーもまたロシア人作曲家としての自覚を新たに、《第4番》を端緒として交響曲の分野に独自の貢献を果たしていくのである。

第1楽章 アンダンテ・ソステヌート—モデラート・コン・アニマ、へ短調、9/8拍子、ソナタ形式。冒頭のファンファーレはポロネーズ、儂^{はかな}い感じの第1主題はワルツのリズムであり、これらの主題が対立する第1楽章は、バレエやオペラを本領としたチャイコフスキー独自の交響的世界である。

第2楽章 アンダンティーノ・イン・モード・デイ・カンツォーナ（歌の様式で）、変ロ短調、2/4拍子、3部形式。中間部はロシア民謡風の舞踊音楽となり、やがて情熱的なクライマックスを形成する。

第3楽章 スケルツォ：ピチカート・オスティナート、アレグロ、へ長調、2/4拍子、3部形式。弦楽のピチカートによるスケルツォが、木管の俗謡や金管の軍楽隊風トリオと色彩的に交替する。

第4楽章 終曲：アレグロ・コン・フォーコ、へ長調、4/4拍子、自由なソナタ形式。祭典風の第1主題につづき、第2主題はロシアの舞踊歌《野に立つ白樺》で、これに基づく激しい動機展開が、やがて第1楽章ファンファーレの再現を導き出す。

作曲年代	1877年～1878年1月（旧ロシア暦1877年12月末）
初演	1878年2月22日（旧ロシア暦10日）、ニコライ・ルビンシテイン指揮、帝室ロシア音楽協会の交響楽演奏会で、モスクワ
楽器編成	フルート2、ピッコロ1、オーボエ2、クラリネット2、ファゴット2、ホルン4、トランペット2、トロンボーン3、チューバ1、ティンパニ2、トライアングル、大太鼓、シンバル、弦楽

千葉 潤 | Jun Chiba

札幌大谷大学芸術学部音楽学科教授。専門はロシア音楽。

N響百年史

第十五回 大倉喜七郎、山田耕筰をたじろがせる

片山杜秀 — Morihide Katayama

二〇二六年のN響創立百周年に向け、NHK「FMクラシックの迷宮」のパーソナリティとしてもお馴染みの思想史研究者で音楽評論家の片山杜秀さんが、N響の歴史を時代背景とともに、独自の視点からひもときます——。山田耕筰と近衛秀麿がそれぞれ日本の交響楽運動に行く手に思いをめぐらすなか、名乗りを上げた第三の人物とは？

鹿鳴館の隣には帝国ホテル

山田耕筰は不意を突かれた。1922(大正11)年の暮れのこと。東京の帝国ホテルがプロ・オーケストラを立ち上げようと動き出したのである。山田耕筰や近衛秀麿とは関係なく、外国人指揮者を中心に、メンバーは日本人と外国人の混成で。

帝国ホテルは1890(明治23)年に開業した。場所は日比谷。鹿鳴館のすぐ隣である。そしてホテルの起りも鹿鳴館と関係がある。いわゆる鹿鳴館外交を推進したのは外務卿だった井上馨だ。東京や横浜で仕事をする西洋諸国の外交官や貿易商人などを接待する。鹿鳴館を建てて社交場とする。頻繁に舞踏会を催す。豪華な食事を振る舞う。明治政府の高官とその夫人たちも着飾って、西洋人と一緒にワルツやカドリユを踊る。そのとき舞踏会場で西洋音楽を演奏するのも日本人の楽士だ。西洋人に食事も音楽も舞踏も、極東の日本にいながら、まるで故国にいるかのような気分を味わってもらおう。そこで日頃、東洋人を見下しがちな彼女らも気がつくのだ。このアジアの端の島国の西洋文明も板についてきたではないかと。幕末のうちに日本を文明未満の国として西洋諸国が関税についても何についても有利になるように結んだ不平等条約を、そろそろ平等なものに改めてよいのではないかと。井上はそのための細工の場として鹿鳴館を用いた。

であるならば、鹿鳴館のそばには西洋人を満足させるホテルが伴わなくてはなるまい。パーティーの始まる前に身なりを整えよう。深夜まで踊って、横浜にはもう帰れないから近所に宿をとろう。一流の遊興の場には一流ホテ

ルがセット。文明の常識だ。しかし外国人向けの宿屋を明治政府が建てるのは行きすぎである。宿泊業は民間に任せるべし。井上馨は財界の大物たちに鹿鳴館直近でのホテル運営を懇請した。渋沢栄一や大倉喜八郎らである。かくて帝国ホテルが出来た。もっとも開業にこぎつける3年も前に、鹿鳴館外交の時代は、条約改正の実をあげずに終わってしまったのだが。

とはいえ日本の文明の発展は続いてゆく。日清戦争に日露戦争。東アジアでの覇権を膨らませ、国際的地位も次第に向上する。という事は東京を訪れる西洋人は増え続ける。帝国ホテルなくて東京は立ちゆかなかった。

その頃の一流の大ホテルに不可欠なものは何か。鹿鳴館の舞踏会場と同じである。楽士だ。レストランやパーティ会場には、それなりに上手な西洋音楽の生演奏が伴わなければならない。そして一流の社交の場には催事もなければいけない。日露戦争後には帝国ホテルが東京屈指のコンサート会場にもなった。日本を訪れる西洋のピアニストやヴァイオリニストやオペラ歌手がリサイタルを行う場になる。ときにはオーケストラのコンサートも行われる。ドイツ海軍の軍楽隊が管弦楽編成で演奏したのも帝国ホテルだった。西洋人演奏家ばかりでなく、日本人オペラ歌手の柴田(三浦)環や、ピアニストの幸田延や久野久、幸田の妹でヴァイオリニストの安藤幸がリサイタルを開く場も、やはり帝国ホテルだった。関東大震災の2か月前に海軍軍楽隊が、特にドイツ海軍軍楽隊の交響楽化に影響され、弦楽器も習練して海軍シンホニー・オーケストラを名乗り、ドヴォルザークの《交響曲第9番「新世界から」》の本格的な日本初演とされる演奏を行ったのは帝国ホテルの大宴会場であり、大震災の2か月後に、

ヴァイオリンの巨匠ヤッシャ・ハイフェッツが荒廃した東京に現れ、ピアノ伴奏でラロの《スペイン交響曲》やサラサーテの《チゴイナーワイゼン》を披露したのは帝国ホテルの演芸場であった。

大倉財閥2代目総帥 大倉喜七郎の登場

日本の首都における西洋的社交空間の最高峰たることを自他ともに認める、そんな帝国ホテルは大倉財閥に属する。1922(大正11)年、大倉財閥初代総帥の大倉喜八郎は高齢ゆえに帝国ホテル会長の座を退き、息子の大倉喜七郎が継いだ。その頃、喜七郎は不惑前後の働き盛り。趣味人としても知られ、音楽は邦楽も洋楽も深く愛した。

喜七郎は考えた。帝国ホテルでは特におよそここ10年、頻繁に西洋音楽の演奏会が催されている。オーケストラのコンサートが可能な大宴会場を抱えてもいる。第1次世界大戦以来の経済成長によって富裕層も増え、常設オーケストラへの関心も高まっているといつてよい。だったら帝国ホテルそのものが主体となって、交響楽団を持てばよいのではないか。幸い、核になる演奏家はすでに雇ってある。レストランなどで弾かせるために西洋人の楽士たちによる一流の楽団を抱えている。彼らをコア・メンバーとし、あとはそのときどきの契約で奏者を集め、大交響楽団に育てていけばよい。

しかも、そこでの大倉喜七郎の発想は、山田耕筰や近衛秀麿の考えてきたこととは違っていた。山田や近衛は、日本人の指揮者で、団員もみんな日本人で、曲目には日本人の作品を積極的に入れる、そのような職業的な交響楽団の継続的発展を夢見ていた。三菱の

岩崎小彌太^{こやまた}が出資し山田が率いて残念ながら早々に挫折した、第1次世界大戦中の東京フィルハーモニー会管弦楽部は、事実、そういう団体だった。オール日本人だった。日本人だけで交響楽をやれて、西洋人をびびりさせてこそ、近代日本文明を世界に誇ることができる。考え方としては井上馨の鹿鳴館外交に近いかもしれない。

ところが大倉喜七郎はそうではなかった。鹿鳴館ではなく、言わばホテルの思想に基づいていた。ホテルはお客さんが満足すればよい。おいしい料理を出せばよいのであって、料理長が日本人であるか西洋人であるかは問題ではない。よい音楽を提供できれば、演奏するのは西洋人でも日本人でもどちらでもかまわない。おまけにそこにはある種の自信が伴っていた。日本は第1次世界大戦で戦勝国になり、国際的地位もますます向上している。お金もどんどん増えている。西洋を^{あお}仰ぎ見て、追いつき追い越せ、という時代はもはや過去のものだ。たしかに西洋音楽の演奏に関しては日本人の腕前はまだまだかもしれない。だったら西洋人にやらせればよいのではないか。お金で雇えばいいではないか。そのほうが日本人も気持ちがいいではないか。一流のものをいつも味わえるようになるではないか。

今やレコードもたくさん聴ける時代である。もっと西洋を味わいたくなってうずうずしている新興ブルジョワジーの耳もどんどん肥えている。山田耕筰のように、日本人ばかりで演奏しなければ真の文明開化は訪れないという態度は、もはや古びている。日本は国際連盟の常任理事国なのだし、世界の中の日本である。足らざる分野を西洋人で補うことで日本の誇りに傷がつくというのか。アメリカだってイギリスだって、ヨーロッパ大陸やロシアから作曲

家も演奏家も迎え入れて、お金の力で一流の音楽を楽しんでいるのではないか。日本も同じことをすればよい。日本の演奏家ばかりの、いつうまくなるかわからないオーケストラを育てて、集客に苦勞するくらいなら、はじめから上手な西洋人を並べておけばよい。弾いているのが日本人か西洋人かなんてことはどうでもいいのか。良い音楽を聴けば誰だってうれしいのだから。

大倉喜七郎は豊かになってきた大正後期の日本の新しい思想を、音楽分野においてたしかに代表していた。でも、東京の帝国ホテルに常設オーケストラを西洋人主体で持つなどということが、はたして現実的なのか。帝国ホテルの食事時間に演奏する数人程度ならともかく、もっと大勢が日本のどこにいるというのか。わざわざ欧米から新規に雇い入れるのか。

いや、そんなことをしなくてもよかったのだ。第1次世界大戦による混乱、とりわけ大戦と連動して1917(大正6)年に起きたロシア革命の大騒動から逃げだそうと、極東の新文明国、日本にはるばるやってきてそのまま住み着いてしまう西洋人が急増していた。山田耕筰が第1次世界大戦直前にドイツから帰国した頃とは、10年経たずに事情が変わっていた。西洋の大都市の職業的オーケストラのメンバーであったり音楽学校の教員であったりした音楽家が、とりわけ、ソビエト連邦に変じて共産党の指導するようになった旧ロシア帝国のエリアから、シベリア経由で、この国に流れ込んでいた。大倉喜七郎が新しいオーケストラの核にしようとした、帝国ホテル常雇いの一流楽士たちも、そうした白系ロシア人が主体だった。共産党の赤に対して旧体制を象徴する色は白であったので、赤色化を嫌って外に逃げるロシア人は白系と呼称された。

東京のオーケストラ運動を取り戻せ！

帝国ホテルのオーケストラのお披露目のコンサートが催されたのは1923(大正12)年4月12日である。東京シンフォニー管弦団、もしくは東京シンフォニー・オーケストラと名乗った。指揮者はゲルシュコヴィチという、やはり白系ロシアの音楽家である。メンバー表をみよう。コンサートマスターはステンピンスキー。帝国ホテルの楽士として毎日レストランでヴァイオリンの妙技を披露していた。そのほかヴァイオリンには、横浜グランド・ホテルの楽士であるハレクヤブティツェンやシュトファー、そこに帝国ホテルの楽士のフェルムやラ・フェレツァといった人たちの名が見える。他のパートにも外国人が大勢。もともと帝国ホテルか他のホテルの楽士であったり、フリーランスであったり。白系ロシア人がやはり多いようだが、その他イタリア人にドイツ人にハンガリー人に、おそらくフィリピンから来た軽音楽の演奏家もいる。何十人かのコア・メンバーが外国人で揃う。

そこにヴァイオリンなら前田磯、チェロなら酒井悌、フルートなら宮田清蔵や岡村雅雄、ファゴットなら片山頼太郎等々が加わる。東京音楽学校系、軍楽隊系、少年音楽隊系。当時の東京や横浜の腕利きを集めている。こうして、西洋人主体で日本人も加わった多民族混成のプロ・オーケストラと称するものがいきなり東京に誕生してしまった。お披露目の演奏会の曲目はベートーヴェンの《交響曲第5番》、リ

ムスキー・コルサコフの《序曲「ロシアの復活祭」》、首席チェロ奏者であったのだろうヴァルホロメイエフをソリストに立てたチャイコフスキーの《ロココ風の主題による変奏曲》だ。なかなか本格的と言える。コンサートの客席は名士であふれた。

山田耕筈^{あせ}は焦った。職業的交響楽団を立ち上げて^{つぼ}もまた潰してしまうのが怖くて、歌曲や童謡を作ったり、オペラ運動をやるのだと言ってみたり、たまに臨時編成のオーケストラで公演して、お茶を濁しているうちに、財界の新星^{にこ}スター、大倉財閥の二代目に完全に先を越されている。近衛秀麿^{あわ}が慌てて^{はく}箔をつけようと1923(大正12)年2月に渡欧したのも、この大倉喜七郎の動きとやはり関係があるに違いない。

白系ロシア人に東京のオーケストラ運動をすっかり取られてしまう前に、挽回しなければならぬ。山田はどうしたか。向こうが日露混成なら、こっちは同じ日露混成でももっと上に行くオーケストラをかりそめにも作って、西洋人の演奏^{あこが}に憧れる日本の聴衆を帝国ホテルから山田耕筈へとふたたび振り向かせなくては行けない。ここに1925(大正14)年^{はく}ようやく実現に至る、山田の^{ばくち}またまたの大博打、日露交歓交響管弦楽演奏会の仕込みが始まる。

文 | 片山杜秀(かたやま もりひで)

思想史研究者、音楽評論家。慶應義塾大学法学部教授。2008年、『音盤考現学』『音盤博物誌』で吉田秀和賞、サントリー学芸賞を受賞。『クラシックの核心』『ゴジラと日の丸』『近代日本の右翼思想』『未完のファシズム』『見果てぬ日本』ほか著書多数。

次回予告

山田耕筈、いよいよ動く！ 大プロジェクト「日露交歓交響管弦楽演奏会」の準備が始まります。

Information

新入団 チェロ首席 辻本 玲(つじもと れい) 2020年12月1日付で入団。

お詫びと訂正

本誌『Philharmony』11月号にて誤りがございました。
お詫び申し上げますとともに、以下のとおり訂正をさせていただきます。

4頁 Artist Profiles 熊倉優(指揮)の第2段落2行目
[誤] 2019年には、第18回東京国際音楽コンクール(指揮)で
[正] 2018年には、第18回東京国際音楽コンクール(指揮)で

2020-21シーズン公演日程

	NHKホール(2月まで)	東京芸術劇場	サントリーホール
	土6:00pm / 日3:00pm	金7:00pm / 土2:00pm	水7:00pm / 木7:00pm
2021 01	16土 17日	22金 23土	27水 28木
02	6土 7日	12金 13土	17水 18木
04	10土 11日 6:00pm 2:00pm*	16金 17土	21水 22木
05	15土 16日 6:00pm 2:00pm*	21金 22土	26水 27木
06	5土 6日 6:00pm 2:00pm*	11金 12土	16水 17木

NHKホール 改修工事のため
サントリーホールに会場を
移して行きます。
※2日目の開演時刻は
午後2時となります。

NHK交響楽団1月公演

発売開始12/10(木)[先行発売開始12/8(火)]

チケット料金、前売所等については、
N響ホームページの各公演ページをご覧ください。

NHKホール

2021年1月16日(土) 6:00pm | 17日(日) 3:00pm
指揮: ファンホ・メナ | ピアノ: ハビエル・ベリアネス*
ピエルネ / 「ラムンチョ」序曲
ファリャ / 交響的印象「スペインの庭の夜」*
ヒナステラ / バレエ組曲「バナンビ」作品1a
ラヴェル / 「ダフニスとクロエ」組曲 第1番、第2番

東京芸術劇場 コンサートホール

2021年1月22日(金) 7:00pm | 23日(土) 2:00pm
指揮: 沼尻竜典 | ヴァイオリン: 辻 彩奈*
ラヴェル / 組曲「クーブランの墓」
ショーソン / 詩曲 作品25*
ラヴェル / チガーヌ*、亡き王女のためのパヴァーヌ、バレエ音楽「マ・メール・ロワ」(全曲)

サントリーホール

2021年1月27日(水) 7:00pm | 28日(木) 7:00pm
指揮: 鈴木優人
パッサ / ブランデンブルク協奏曲 第1番 へ長調
BWV1046
ベートーヴェン / 序曲「コリオラン」作品62
ブラームス / 交響曲 第1番 ハ短調 作品68

WEBチケットN響(手数料無料)

チケットのご予約は、スマートフォンやPC
から、座席を選んで簡単にチケットが確保
できる「WEBチケットN響」が便利です。



お問い合わせ: N響ガイド TEL 03-5793-8161
※ 営業日・営業時間はN響ホームページをご覧ください。

特別支援・特別協力・賛助会員

Corporate Membership

特別支援

岩谷産業株式会社	代表取締役社長 間島 寛
三菱地所株式会社	執行役社長 吉田淳一
東日本旅客鉄道株式会社	代表取締役社長 深澤祐二
株式会社 みずほ銀行	頭取 藤原弘治
公益財団法人 渋谷育英会	理事長 小丸成洋

特別協力

BMW ジャパン	代表取締役社長 Christian Wiedmann
ユナイテッド航空会社	アジア太平洋・大西洋地区営業担当副社長 Marcel Fuchs
全日本空輸株式会社	代表取締役社長 平子裕志
株式会社 松尾楽器商会	代表取締役 松尾治樹
ヤマハ株式会社	代表執行役社長 中田卓也
株式会社 パレスホテル	代表取締役社長 吉原大介

賛助会員

・ 常陸宮	・ イーソリューションズ(株) 代表取締役社長 佐々木経世	・ SMBC日興証券(株) 代表取締役社長 近藤雄一郎
・ (株)アートレイ 代表取締役 小森活美	・ EY新日本有限責任監査法人 理事長 片倉正美	・ SCSK(株) 代表取締役社長執行役員 最高執行責任者 谷原 徹
・ アイシン・エイ・ダブリュ(株) 取締役社長 尾崎和久	・ 池上通信機(株) 代表取締役社長 清森洋祐	・ (株)NHKアート 代表取締役社長 小野木昌史
・ 葵設備工事(株) 代表取締役社長 安藤正明	・ 伊東国際特許事務所 会長 伊東忠彦	・ (一財)NHK インターナショナル 理事長 小泉公二
・ アサヒグループホールディングス(株) 代表取締役社長兼CEO 小路明善	・ 井村屋グループ(株) 代表取締役会長 浅田剛夫	・ NHK 営業サービス(株) 代表取締役社長 松原洋一
・ (株)朝日工業社 代表取締役社長 高須康有	・ (株)インターネットイニシアティブ 代表取締役会長 鈴木幸一	・ (株)NHK エデュケーショナル 代表取締役社長 熊埜御堂朋子
・ 朝日信用金庫 理事長 橋本 宏	・ (株)ウイングツール 代表取締役 福田健二	・ (一財)NHK エンジニアリングシステム 理事長 山本 真
・ 有限責任 あずさ監査法人 理事長 高波博之	・ AGC(株) 代表取締役兼社長執行役員 島村琢哉	・ (株)NHK エンタープライズ 代表取締役社長 安齋尚志
・ アットホーム(株) 代表取締役社長 鶴森康史		

- ・(学)NHK学園
理事長 | 浜田泰人
- ・(株)NHK グローバルメディアサービス
代表取締役社長 | 荒木裕志
- ・(一財)NHK サービスセンター
理事長 | 黄木紀之
- ・(株)NHK出版
代表取締役社長 | 森永公紀
- ・(株)NHK テクノロジーズ
代表取締役社長 | 大橋一三
- ・(株)NHK ビジネスクリエイティブ
代表取締役社長 | 谷弘聡史
- ・(株)NHK プロモーション
代表取締役社長 | 風谷英隆
- ・(一財)NHK放送研修センター
理事長 | 原田達也
- ・(株)エヌオーイー
代表取締役社長 | 橋本 肇
- ・(株)NTTドコモ
代表取締役社長 | 井伊基之
- ・(株)NTTファシリティーズ
代表取締役社長 | 松原和彦
- ・荏原冷熱システム(株)
代表取締役 | 庄野 道
- ・大崎電気工業(株)
代表取締役会長 | 渡辺佳英
- ・大塚ホールディングス(株)
代表取締役社長兼CEO | 樋口達夫
- ・(株)大林組
代表取締役社長 | 蓮輪賢治
- ・オールニッポンヘリコプター(株)
代表取締役社長 | 柳川 淳
- ・岡崎耕治
- ・沖電気工業(株)
代表取締役執行役員 | 鎌上信也
- ・小田急電鉄(株)
取締役社長 | 星野晃司
- ・花王(株)
代表取締役 社長執行役員 | 澤田道隆
- ・カシオ計算機(株)
代表取締役社長 | 櫻尾和宏
- ・鹿島建設(株)
代表取締役社長 | 押味至一
- ・片倉康行
- ・(株)加藤電気工業所
代表取締役社長 | 加藤浩章
- ・角川歴彦
- ・(株)金子製作所
代表取締役 | 金子晴房
- ・カルチュア・エンタテインメント(株)
代表取締役社長 | 中西一雄
- ・(株)関電工
取締役社長 社長執行役員
仲摩俊男
- ・(株)かんぼ生命保険
取締役兼代表執行役社長 | 千田哲也
- ・キッコーマン(株)
取締役名誉会長 | 茂木友三郎
- ・(株)教育芸術社
代表取締役 | 市川かおり
- ・(株)共栄サービス
代表取締役 | 三宅国紀
- ・(株)共同通信会館
代表取締役 | 牧野和宏
- ・(一社)共同通信社
社長 | 水谷 亨
- ・キリンホールディングス(株)
代表取締役社長 | 磯崎功典
- ・キングレコード(株)
代表取締役 | 村上 潔
- ・(学)国立音楽大学
理事長 | 山田晴彦
- ・グラフィックプラットフォーム(株)
代表取締役 | 長谷川正治
- ・京王電鉄(株)
代表取締役 | 紅村 康
- ・京成電鉄(株)
代表取締役社長 | 小林敏也
- ・KDDI(株)
代表取締役社長 | 高橋 誠
- ・京浜急行電鉄(株)
取締役社長 | 原田一之
- ・(医)社団 恒仁会
理事長 | 伊藤恒道
- ・(株)サウンド&ミュージック クリエーション
代表取締役 | 河合由里子
- ・佐川印刷(株)
代表取締役会長 | 木下宗昭
- ・(株)サコ コンサルタント
取締役 総務部長 | 大森 保
- ・佐藤弘康
- ・サフラン電機(株)
代表取締役社長 | 藤崎貴之
- ・(株)サンセイ
代表取締役社長 | 富田 稔
- ・サントリーホールディングス(株)
代表取締役社長 | 新浪剛史
- ・JXTGホールディングス(株)
代表取締役社長 | 杉森 務
- ・(株)ジャパン・アーツ
代表取締役社長 | 二瓶純一
- ・(株)ジュビターテレコム
代表取締役社長 | 石川雄三
- ・ジョンソン・エンド・ジョンソン(株)
- ・(株)白川プロ
代表取締役社長 | 白川亜弥
- ・新赤坂クリニック
名誉院長 | 松木康夫
- ・信越化学工業(株)
代表取締役会長 | 金川千尋
- ・新菱冷熱工業(株)
代表取締役社長 | 加賀美 猛
- ・(株)スカパーJSATホールディングス
代表取締役社長 | 米倉英一
- ・(株)菅原
代表取締役社長 | 古江訓雄
- ・スズキ(株)
代表取締役社長 | 鈴木俊宏
- ・鈴木美代
- ・住友商事(株)
代表取締役社長執行役員 CEO
兵頭誠之
- ・住友電気工業(株)
社長 | 井上 治
- ・住友電設(株)
取締役社長 | 坂崎全男
- ・セイコーホールディングス(株)
代表取締役会長兼グループCEO
服部真二
- ・聖徳大学
学長 | 川並弘純
- ・西武鉄道(株)
取締役社長 | 喜多村樹美男

- ・ 関彰商事(株)
代表取締役会長 | 関 正夫
- ・ (株)セノン
代表取締役 | 小谷野宗靖
- ・ 全国農業協同組合連合会
経営管理委員会 会長 | 長澤 豊
- ・ 洗足学園音楽大学
学長 | 万代晋也
- ・ (株)ソニー・ミュージックエンタテインメント
代表取締役社長 CEO | 村松俊亮
- ・ 損害保険ジャパン(株)
取締役社長 | 西澤敬二
- ・ 第一三共(株)
代表取締役会長 | 中山譲治
- ・ ダイキン工業(株)
取締役社長 | 十河政則
- ・ 大成建設(株)
代表取締役社長 | 相川善郎
- ・ 高砂熱学工業(株)
代表取締役社長 | 小島和人
- ・ (株)ダク
代表取締役 | 福田浩二
- ・ (株)竹中工務店
取締役執行役員社長 | 佐々木正人
- ・ 田原 昇
- ・ 中外製薬(株)
代表取締役会長 | 小坂達朗
- ・ (株)電通
代表取締役 社長執行役員 | 五十嵐 博
- ・ (株)TOKAIホールディングス
代表取締役社長 | 鶴田勝彦
- ・ 東海旅客鉄道(株)
代表取締役社長 | 金子 慎
- ・ 東急(株)
取締役社長 | 高橋和夫
- ・ (株)東急文化村
代表取締役社長 | 中野哲夫
- ・ (株)東京交通会館
取締役社長 | 八木橋孝男
- ・ 東信地所(株)
代表取締役 | 堀川利通
- ・ 東武鉄道(株)
取締役社長 | 根津嘉澄
- ・ 東邦音楽大学
理事長・学長 | 三室戸東光
- ・ 桐朋学園大学
学長 | 梅津時比古
- ・ 東邦ホールディングス(株)
代表取締役会長 CEO | 濱田矩男
- ・ (株)東北新社
代表取締役社長 | 二宮清隆
- ・ (-財)凸版印刷三幸会
代表理事 | 足立直樹
- ・ トヨタ自動車(株)
代表取締役社長 | 豊田章男
- ・ 内外施設工業(株)
取締役会長 | 林 正道
- ・ 中銀グループ
代表 | 渡辺蔵人
- ・ (株)日放ツアリスト
代表取締役社長 | 谷本佳則
- ・ 日本ガイン(株)
取締役社長 | 大島 卓
- ・ (株)日本国際放送
代表取締役社長 | 城本 勝
- ・ 日本通運(株)
代表取締役社長 | 齋藤 充
- ・ 日本電気(株)
代表取締役 執行役員社長
新野 隆
- ・ 日本土地建物(株)
代表取締役社長 | 平松哲郎
- ・ (-財)日本放送協会共済会
理事長 | 北爪秀樹
- ・ 日本郵政(株)
取締役兼代表執行役社長 | 増田寛也
- ・ (株)ニフコ
代表取締役社長 | 山本利行
- ・ 野村ホールディングス(株)
代表執行役社長 | 奥田健太郎
- ・ パナソニック(株)
代表取締役社長 | 津賀一宏
- ・ (有)パルフェ
代表取締役 | 伊藤良彦
- ・ 東日本電信電話(株)
代表取締役社長 | 井上福造
- ・ (株)日立製作所
執行役社長 | 東原敏昭
- ・ (株)フォトロン
代表取締役 | 瀧水 隆
- ・ 福田三千男
- ・ 富士通(株)
代表取締役社長 | 時田隆仁
- ・ 富士通フロンテック(株)
代表取締役社長 | 川上博矛
- ・ 古川建築音響研究所
所長 | 古川宣一
- ・ (株)朋栄ホールディングス
代表取締役 | 清原慶三
- ・ (株)放送衛星システム
代表取締役社長 | 井上樹彦
- ・ 公助放送文化基金
理事長 | 濱田純一
- ・ ホクト(株)
代表取締役 | 水野雅義
- ・ 前田工織(株)
代表取締役社長兼COO | 前田尚宏
- ・ (株)松尾楽器商会
代表取締役 | 松尾治樹
- ・ 丸紅(株)
代表取締役社長 | 柿木真澄
- ・ 溝江建設(株)
代表取締役社長 | 溝江 弘
- ・ 三井住友海上火災保険(株)
取締役社長 | 原 典之
- ・ (株)三井住友銀行
頭取 | 高島 誠
- ・ 三菱商事(株)
代表取締役社長 | 垣内威彦
- ・ 三菱電機(株)
執行役社長 | 杉山武史
- ・ (株)緑山スタジオ・シティ
代表取締役社長 | 難波一弘
- ・ 三橋産業(株)
代表取締役会長 | 三橋洋之
- ・ 三原穂積
- ・ (学)武蔵野音楽学園
理事長 | 福井直敬
- ・ (株)明治
代表取締役社長 | 松田克也
- ・ (株)明電舎
取締役社長 | 三井田 健
- ・ (株)目の眼
代表 | 櫻井 恵

・森ビル(株)
代表取締役社長 | 辻 慎吾

・森平舞台機構(株)
代表取締役 | 森 健輔

・山田産業(株)
代表取締役 | 山田裕幸

・(株)山野楽器
代表取締役社長 | 山野政彦

・(株)ヤマハミュージックジャパン
代表取締役社長 | 押木正人

・ユニオンツール(株)
代表取締役会長 | 片山貴雄

・米澤文彦

・(株)読売広告社
代表取締役社長 | 藤沼大輔

・(株)読売旅行
代表取締役社長 | 坂元 隆

・リコージャパン(株)
代表取締役 社長執行役員 CEO
坂主智弘

・料亭 三長
代表 | 高橋千善

・(株)リンレイ
代表取締役社長 | 鈴木信也

・(有)ルナ・エンタープライズ
代表取締役 | 戸張誠二

・ルーム(株)
代表取締役社長 社長執行役員
松本 功

・YKアクロス(株)
代表取締役社長 | 中野健次

(五十音順、敬称略)

NHK交響楽団への ご寄付について

NHK交響楽団は多くの方々の貴重なご寄付に支えられて、積極的な演奏活動を展開しております。定期公演の充実をはじめ、著名な指揮者・演奏家の招聘、意欲あふれる特別演奏会の実現、海外公演の実施など、今後も音楽文化の向上に努めてまいりますので、みなさまのご支援をよろしくお願い申し上げます。

「賛助会員」入会のご案内

NHK交響楽団は賛助会員制度を設け、上記の方々にご支援をいただいております。当団の経営基盤を支える大きな柱となっております。会員制度の内容は次の通りです。

■当団は「公益財団法人」として認定されています。

当団は芸術の普及向上を行うことを主目的とする法人として「公益財団法人」の認定を受けているため、当団に対する寄付金は税制上の優遇措置の対象となります。

1. 会費：一口50万円(年間)
 2. 期間：入会は随時、年会費をお支払いいただいたときから1年間
 3. 入会の特典：『フィルハーモニー』、『年間パンフレット』、『「第9」演奏会プログラム』等にご芳名を記載させていただきます。
- N響主催公演のご鑑賞の機会を設けます。

遺贈のご案内

資産の遺贈(遺言による寄付)を希望されるの方々のご便宜をお図りするために、NHK交響楽団では信託銀行が提案する「遺言信託制度」をご紹介します(三井住友信託銀行と提携)。相続財産目録の作成から遺産分割手続の実施まで、煩雑な相続手続を信託銀行が有償で代行いたします。まずはN響寄付担当係へご相談ください。

お問い合わせ

公益財団法人 NHK交響楽団「寄付担当係」

TEL：03-5793-8120

ご寄付の御礼

新型コロナウイルス感染拡大に伴う公演の中止に際し、多くのお客様より、チケットの払い戻し代金をご寄付いただきました。皆様のご厚意は私どもにとって大きな励みとなりました。いただいたご寄付は今後の演奏活動のさらなる充実のために役立てさせていただきます。このたびのご支援に心より御礼を申し上げます。

NHK交響楽団

首席指揮者：パーヴォ・ヤルヴィ

名誉音楽監督：シャルル・デュトワ

桂冠名誉指揮者：ヘルベルト・ブロムシュテット

桂冠指揮者：ウラディーミル・アシュケナージ

正指揮者：外山雄三、尾高忠明

第1コンサートマスター：篠崎史紀

コンサートマスター：伊藤亮太郎

ゲスト・コンサートマスター：ライナー・キュッヒル、白井 圭

第1ヴァイオリン

青木 調
宇根京子
大鹿由希
倉富亮太
後藤 康
小林玉紀
齋藤真知亜
高井敏弘
猶井悠樹
中村弓子
降旗貴雄
○松田拓之
宮川奈々
○森田昌弘
○山岸 努
□横島礼理
○横溝耕一

第2ヴァイオリン

○大林修子
☆大宮臨太郎
木全利行
齋藤麻衣子
嶋田慶子
○白井 篤
鈴木弘一
○田中晶子
坪井きらら
丹羽洋輔
平野一彦
船木陽子
俣野賢仁
○三又治彦

宮里親弘
矢津将也
山田慶一
横山俊朗
米田有花

ヴィオラ

○佐々木 亮
◇川本嘉子
小野 聡
小島茂隆
坂口弦太郎
谷口真弓
飛澤浩人
○中村翔太郎
○中村洋乃理
松井直之
#御法川雄矢
○村松 龍
山田雄司

チェロ

○辻本 玲
○藤森亮一
市 寛也
小島幸法
三戸正秀
中 実穂
○西山健一
○藤村俊介
宮坂拓志
村井 将
○山内俊輔
渡邊方子

コントラバス

◎吉田 秀
☆市川雅典
☆西山真二
稻川永示
○岡本 潤
今野 京
佐川裕昭
本間達朗
矢内陽子

フルート

◎甲斐雅之
◎神田寛明
梶川真歩
菅原 潤
中村淳二

オーボエ

◎青山聖樹
◎吉村結実
池田昭子
坪池泉美
和久井 仁

クラリネット

◎伊藤 圭
◎松本健司
#山根孝司

ファゴット

◎宇賀神広宣
◎水谷上総
佐藤由起
菅原恵子
森田 格

ホルン

◎今井仁志
◎福川伸陽
石山直城
勝俣 泰
木川博史
野見山和子

トランペット

◎菊本和昭
◎長谷川智之
安藤友樹
山本英司

トロンボーン

◎古賀 光
◎新田幹男
池上 亘
栗田雅勝
黒金寛行
吉川武典

テューバ

池田幸広

ティンパニ

◎植松 透
◎久保昌一

打楽器

石川達也
黒田英実
竹島悟史

ハーブ

早川りさこ

ステージ・マネージャー

徳永匡哉
深畑一徳

ライブラリアン

沖 あかね
木村英代

(五十音順、◎首席、◇首席客演、☆首席代行、○次席、□次席代行、#インスペクター)

NHK SYMPHONY ORCHESTRA, TOKYO

Chief Conductor: Paavo Järvi

Music Director Emeritus: Charles Dutoit

Honorary Conductor Laureate: Herbert Blomstedt

Conductor Laureate: Vladimir Ashkenazy

Permanent Conductors: Yuzo Toyama, Tadaaki Otaka

First Concertmaster: Fuminori Maro Shinozaki

Concertmaster: Ryotaro Ito

Guest Concertmasters: Rainer Küchl, Kei Shirai

1st Violins

- Shirabe Aoki
- Kyoko Une
- Yuki Oshika
- Ryota Kuratomi
- Ko Goto
- Tamaki Kobayashi
- Machia Saito
- Toshihiro Takai
- Yuki Naoi
- Yumiko Nakamura
- Takao Furihata
- Hiroyuki Matsuda
- Nana Miyagawa
- Masahiro Morita
- Tsutomu Yamagishi
- Masamichi Yokoshima
- Koichi Yokomizo

2nd Violins

- ◎ Nobuko Obayashi
- ☆ Rintaro Omiya
- Toshiyuki Kimata
- Maiko Saito
- Keiko Shimada
- Atsushi Shirai
- Koichi Suzuki
- Akiko Tanaka
- Kirara Tsuboi
- Yosuke Niwa
- Kazuhiko Hirano
- Yoko Funaki
- Kenji Matano
- Haruhiko Mimata
- Chikahiro Miyazato
- Masaya Yazu
- Yoshikazu Yamada
- Toshiro Yokoyama
- Yuka Yoneda

Violas

- ◎ Ryo Sasaki
- ◇ Yoshiko Kawamoto
- Satoshi Ono
- Shigetaka Obata
- Genaro Sakaguchi
- Mayumi Taniguchi
- Hiroto Tobisawa
- Shotaro Nakamura
- Hironori Nakamura
- Naoyuki Matsui
- # Yuya Minorikawa
- Ryo Muramatsu
- Yuji Yamada

Cellos

- ◎ Rei Tsujimoto
- ◎ Ryoichi Fujimori
- Hiroya Ichi
- Yukinori Kobatake
- Masahide Sannohe
- Miho Naka
- Ken'ichi Nishiyama
- Shunsuke Fujimura
- Hiroshi Miyasaka
- Yuki Murai
- Shunsuke Yamanouchi
- Masako Watanabe

Contrabasses

- ◎ Shu Yoshida
- ☆ Masanori Ichikawa
- ☆ Shinji Nishiyama
- Eiji Inagawa
- Jun Okamoto
- Takashi Konno
- Hiroaki Sagawa
- Tatsuro Honma
- Yoko Yanai

Flutes

- ◎ Masayuki Kai
- ◎ Hiroaki Kanda
- Maho Kajikawa
- Jun Sugawara
- Junji Nakamura

Oboes

- ◎ Satoki Aoyama
- ◎ Yumi Yoshimura
- Shoko Ikeda
- Izumi Tsuboike
- Hitoshi Wakui

Clarinets

- ◎ Kei Ito
- ◎ Kenji Matsumoto
- # Takashi Yamane

Bassoons

- ◎ Hironori Ugajin
- ◎ Kazusa Mizutani
- Yuki Sato
- Keiko Sugawara
- Itaru Morita

Horns

- ◎ Hitoshi Imai
- ◎ Nobuaki Fukukawa
- Naoki Ishiyama
- Yasushi Katsumata
- Hiroshi Kigawa
- Kazuko Nomiya

Trumpets

- ◎ Kazuaki Kikumoto
- ◎ Tomoyuki Hasegawa
- Tomoki Ando

Eiji Yamamoto

Trombones

- ◎ Hikaru Koga
- ◎ Mikio Nitta
- Ko Ikegami
- Masakatsu Kurita
- Hiroyuki Kurogane
- Takenori Yoshikawa

Tuba

Yukihiro Ikeda

Timpani

- ◎ Toru Uematsu
- ◎ Shoichi Kubo

Percussion

Tatsuya Ishikawa
Hidemi Kuroda
Satoshi Takeshima

Harp

Risako Hayakawa


Stage Manager

Masaya Tokunaga
Kazunori Fukahata

Librarian

Akane Oki
Hideyo Kimura

(◎ Principal, ◇ Guest Principal, ☆ Acting Principal, ○ Vice Principal, □ Acting Vice Principal, # Inspector)



みんな、アーティスト。

「キラキラっとアートコンクール」は、障がいのある子どもたちの可能性の応援を目的に2002年にスタートしました。本コンクールが子どもたちの優れた才能を評価・発掘・展示する機会となり、子どもたちが絵を描く楽しみや喜びを増し、芸術活動の裾野が広がることを願い、応援してまいります。

全応募作品はコンクール Web サイトで公開しています。
<https://kira-art.jp/>

人を、想う力。街を、想う力。三菱地所グループ

大人の旅を、ごいっしょに。



大人になったら、したいこと。

大人の休日 倶楽部



50歳からの旅に、この一枚。大人の休日倶楽部カード。

◎満50歳以上の方へ。



大人の休日倶楽部 **ミドル**
JR東日本線・JR北海道線のきっぷが何回でも
5%割引*
初年度年会費(2,624円)無料!

入会後1年間は年会費が無料となります。なお、送金1年以内に再入会された方は対象となりません。

※発売箇所・利用期間等に制限があります。

◎男性満65歳以上、女性満60歳以上の方へ。



大人の休日倶楽部 **ジパング**
JR東日本線・JR北海道線のきっぷが何回でも
30%割引*
年会費：個人会員4,364円・夫婦会員7,458円

ご夫婦の場合、どちらかが満65歳以上なら、お二人そろって夫婦会員としてご入会いただけます。

◎くわしくはJR東日本・JR北海道の主な駅・びゅうプラザ・ツインクルプラザにある入会申込書をご覧ください。
「大人の休日倶楽部」ホームページ www.jreast.co.jp/otona/
JR東日本 大人の休日・ジパング倶楽部事務局:050-2016-7000(平日・土曜9:00~17:30受付、日・祝日・年末年始は休み)
※クレジットカードの審査により、ご入会いただけない場合があります。※記載の情報は2020年7月現在のものです。

〈みずほ〉は、サステナビリティへの取り組みを通じ、
環境の保全と、経済・産業・社会の
持続的な発展・繁栄に貢献します。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

<p>1 貧困をなくそう</p> 	<p>3 すべての人に健康と福祉を</p> 	<p>4 質の高い教育をみんなに</p> 	<p>5 ジェンダー平等を実現しよう</p> 	<p>7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに</p> 	<p>8 働きがいも経済成長も</p> 
<p>9 産業と技術革新の基盤をつくろう</p> 	<p>10 人や国の不平等をなくそう</p> 	<p>11 住み続けられるまちづくりを</p> 	<p>13 気候変動に具体的な対策を</p> 	<p>16 平和と公正をすべての人に</p> 	<p>17 パートナーシップで目標を達成しよう</p> 

大きかったランドセルが
小さく見えても

「おかえり」って
いつまでも言えますように。



子どもたちに継続的な交通安全教育を。

KIDS' SAFETY CHALLENGE

ひろしま交通事故防止キャンペーン「キッズセーフティーチャレンジ」

渋谷育英会は、福山通運株式会社の創業者 故 渋谷 昇名誉会長が、子どもたちの教育を支援するために私財を寄付され、1985年6月に設立されました。以来、不登校児童・生徒の問題に対する取り組みをはじめ、高校生、大学生への奨学金の貸与事業、教育機関や文化振興を行う地域団体及び青少年の健全育成活動を行う団体等に支援をしています。

公益財団法人 **渋谷育英会**

〒721-0974 広島県福山市東深津町四丁目20番1号
TEL:084-925-2030 FAX:084-925-1370



THE 8 GRAN COUPÉ

BMW Individual
Manufaktur

美と技の頂を究める旅へ。
BMWと日本の名匠プロジェクトによる日本特別限定車、
THE 8 GRAN COUPÉ KYOTO EDITION. Webにてストーリー公開中。
bmw.co.jp

詳しくはお近くのBMW正規ディーラーまたはBMWカスタマー・インタラクティブ・センターへ 0120-269-437

世界をつなぐ、あたらしい空へ。



Inspiration of JAPAN

A STAR ALLIANCE MEMBER 

www.ana.co.jp



STEINWAY & SONS



— スタインウェイならすべてをピアノが教えてくれます。 —

スタインウェイピアノは、どれもが無限の可能性を持った名器です。

私たちはその可能性を最大限に拓くため、60年以上にわたって技術の研鑽に努めてきました。

そしてこれからも、スタインウェイの魅力をより身近に感じていただけるよう努力し、
日比谷ショールームで皆様とスタインウェイピアノとの《出逢い》をサポート致します。

お電話が繋がらない場合は、メールにてお気軽にお問合せください。✉ webadmin@h-matsuo.co.jp



▶ STEINWAY SALON TOKYO YouTubeチャンネル



YouTubeチャンネルで様々なコンテンツを発信しております。ぜひご覧ください。

松尾楽器商会では、アーティストの皆さんの演奏動画を以前から配信しております。ほかにもピアノのお手入れ方法についてもご案内しています。技術部からの発信もどうぞ注目ください。「ピアノ鍵盤のお手入れ」「塗装面のお手入れ」「温度と湿度管理について」etc…



スタインウェイ&サンズ関東地区正規ディーラー
ライオン&ヒーラーハープ社日本総代理店

創業
1953年

株式会社 松尾楽器商会



東京都千代田区有楽町1-5-1 日比谷マリビルB1 Tel.03-3539-1711 当面の営業時間 11:00~19:00 水曜定休
ACCESS 東京メトロ日比谷線&千代田線 日比谷駅A9出口すぐ/「東京ミッドタウン日比谷」となり/日比谷交差点角/日比谷公園前

美が響く力。

空間は音を描くキャンパスである。コンサートホールというキャンパスに、
いかに思い描いたままの音を表現する力を得るか。
それが The CF Series の開発テーマだった。
フルオーケストラを率いたコンチェルトも、確かな存在感を持って響きわたらせる力。
囁くようなピアノシモに彩りと奥行きを与える、ゆとりという力。
長年のピアノづくりで定評を得てきたプリリアントな音の先にたどりついた進化。
それは、ずっと私たちのイメージの中で響き続けてきた音だ。

超え続けることが、在り続けること。

CFX

●ヤマハピアノ・電子ピアノ ホームページ <https://jp.yamaha.com/piano/>

●ヤマハピアノのお問い合わせは、お客様コミュニケーションセンター ピアノご相談窓口 ☎ 0570-003-808

営業時間:月曜～金曜 10:00～17:00 (祝日およびセンター指定休日を除く)

株式会社ヤマハミュージックジャパン



PALACE HOTEL TOKYO



美しい国の、美しい一日がある。

パレスホテル東京

〒100-0005 東京都千代田区丸の内 1-1-1 tel 03-3211-5211 (代表) www.palacehoteltokyo.com



NHKSO
NHK SYMPHONY ORCHESTRA
TOKYO



N響 第9

Beethoven
9th Symphony
Concert

指揮：パブロ・エラス・カサド

Pablo Heras-Casado, conductor

ベートーヴェン

交響曲 第9番 ニ短調 作品125「合唱つき」

Beethoven: Symphony No. 9 D Minor Op. 125 "Choral"

2020年

12/23 (水) 7:00pm 25 (金) 7:00pm 26 (土) 3:00pm

NHKホール

料金(税込)

S ¥15,000 A ¥10,000 B ¥6,000

ユースチケット(25歳以下) S ¥7,500 A ¥5,000 B ¥3,000

※休憩なしの公演となります。

※今後の状況によっては、出演者が変更となる場合や、公演が中止となる場合があります。あらかじめご了承ください。

※チケットのご購入・ご来場の際には、N響ホームページに掲載の「感染症予防対策についてのご案内」を必ずお読みください。

※未就学児のご入場はお断りしています。

※ユースチケットはN響ガイドにお電話でお申し込みください。公演日の5営業日前までの受付となります。公演当日の販売はございません。

※感染症予防対策のため、事前に年齢確認のための登録手続きが必要となります(N響ホームページをご覧ください)。

※車いす席についてはN響ガイドにお問い合わせください。

※N響ガイドでのお申し込みは、公演日の5営業日前までとなります。

※会場での当日券販売は行いません。公演当日に残席がある場合はWEBチケットN響でのみ販売いたします。

主催：NHK / NHK交響楽団

協賛：みずほ証券株式会社 / はごろもフーズ株式会社 / 花王株式会社 / 株式会社明電舎

ソプラノ：高橋 絵理
Eri Takahashi, soprano

メゾ・ソプラノ：加納 悦子
Etsuko Kanoh, mezzo soprano

テノール：宮里 直樹
Naoki Miyasato, tenor

バリトン：谷口 伸
Shin Taniguchi, baritone

合唱：新国立劇場合唱団
New National Theatre Chorus, chorus

前売所

WEBチケットN響 ticket.nhkso.or.jp/s/ (手数料無料)
N響ガイド 03-5793-8161
チケットぴあ 0570-02-9999 pia.jp/t/nhkso
e+(イープラス) eplus.jp/nhkso
ローソンチケット 0570-000-407 l-tike.com/nhkso

お問い合わせ N響ガイド 03-5793-8161
(営業日・営業時間はN響ホームページをご覧ください)

かんぽ生命 presents

NHKSO
NHK SYMPHONY ORCHESTRA
TOKYO

N響 第九 Special Concert

2020年12月27日(日) 2:00pm
サントリーホール
Sunday, December 27, 2020 Suntory Hall

指揮：
パブロ・エラス・カサド
Pablo Heras-Casado, conductor

©Fernando Sancho

合唱：新国立劇場合唱団
New National Theatre Chorus, chorus

ソプラノ：高橋 絵理
Eri Takahashi, soprano

メゾソプラノ：加納 悦子
Etsuko Kanoh, mezzo soprano

バッハ／組曲 第3番 二長調 BWV1068 -「アリア」(G線上のアリア)
Bach Suite No. 3 D Major BWV1068 -"Air"

バッハ(デュリュフレ編)／コラール「主よ、人の望みの喜びよ」
Bach/Durufle "Jesus bleibet meine Freude," choral

オルガン：勝山 雅世 Masayo Katsuyama, organ

ベートーヴェン

交響曲 第9番 二短調 作品125「合唱つき」

Beethoven Symphony No. 9 D Minor Op. 125 "Choral"

S ¥17,500 AY ¥13,500 B ¥9,000
ユースチケット(25歳以下) S ¥8,750 A ¥6,750 B ¥4,500 ※全て税込価格

前売所

- WEBチケットN響.....ticket.nhksa.or.jp/s/(手数料無料)
- N響ガイド.....03-5793-8161 ほか

お問い合わせ

N響ガイド 03-5793-8161 (営業日・営業時間はN響ホームページをご覧ください)



©FUKAYA Yoshinobu/auray2

テノール：宮里直樹
Naoki Miyasato, tenor



www.sjkegall.com

バリトン：谷口伸
Shin Taniguchi, baritone

●休憩なしの公演となります。●今後の状況によっては、出演者や曲目等が変更となる場合や、公演が中止となる場合があります。あらかじめご了承ください。●チケットご購入・ご来場の際には、N響ホームページに掲載の「感染症予防対策についてのご案内」を必ずお読みください。●未成年児のご入場はお断りしています。●ユースチケットはN響ガイドにお電話でお申し込みください。公演日の5営業日前までの受付となります。公演当日の販売はございません。感染症予防対策のため、事前に年齢確認のための登録手続きが必要になります(N響ホームページをご覧ください)。●車いす席についてはN響ガイドにお問い合わせください。●N響ガイドでのお申し込みは、公演日の5営業日前までとなります。●会場での当日券販売は行いません。公演当日に残席がある場合はWEBチケットN響でのみ販売いたします。

すべてを、お客さまのために。

主催：NHK交響楽団
特別協賛：
株式会社かんぽ生命保険



かんぽ生命

Iwatani

おかげさまで90年

90th
さあ、100年企業へ

水素で 世界を動かせ。

時代が問う。人類は次の100年を託せるエネルギーを持っているか。

私たちには、水素がある。燃焼してもCO₂を排出せず、

大きなパワーを生み、枯渇することがない

その究極のクリーンエネルギーは、すでにロケットを宇宙へ送り、

先端産業を支え、電気を作り、車を走らせている。

世の中に必要なものは、必ず世の中の当たりまえになってゆく。

だから突き進もう。水素で、もっと社会を、時代を、世界を動かせ。

日本には、未来を変えるエネルギーがある。

水素シェア No.1[※]

Iwatani
岩谷産業株式会社

※岩谷産業株式会社は、水素ガスの販売において国内市場シェア約70%を占めています。(2020年8月現在、自社調べ)